

瀬戸内海の重要伝統的建造物保存地区で 地域資源の活用や移住者とで価値を創造

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ、重要伝統的建造物群保存地区である大崎下島御手洗地区で、7つの空き家を改修しカフェ、レストラン、ゲストハウスなど移住者を引込みながら様々な事業を展開している。空き家所有者、農家、観光客、地方で起業したい若者のニーズに応えながら、建物やその場所が持つ物語を活かした“ここにしかないもの”を提供し、地域起業家の育成、価値創造の好循環を生み出している。

●所在地 広島県呉市豊町御手洗259

●電話/FAX 090-4483-3141／－

●URL <https://yosoro.com/>

●代表者 代表執行役員 井上 明

●設立 2014年

●資本金 100万円

●従業員数 4人



自利利他の精神で「共有価値」を創造

御手洗地区の建物や文化、物語を活かし地域課題の解決と企業活動を両立させている。代表者は、観光ボランティアとして働いた経験から、まちづくり組織や若手団体の要職を担い、地域のまちづくりに貢献している。例えば、空き家内で長年使用されていなかった備品を引継いで事業に活用する、多業種多店舗展開で移住者が活躍できる「場」を提供したりする、など内外のネットワークを活かしている。



若いチャレンジャーの新しい働き方

地域資源を活用した事業展開

日本遺産にも登録された重要伝統的建造物群保存地区で、江戸時代や大正時代の建物を事業に有効活用している。具体的には、古い建物の風情を活かした宿泊施設を展開し、地域に取込めていなかった外国人観光客の取込を図っている。また特産品である地元産柑橘を活用し、オリジナル商品「檸檬ぜんざい」を看板メニューとして育成、地元交通安全標識に描かれた「足長小学生」を図案化したオリジナルTシャツを製作販売するなど新商品の開発も手掛けている。



看板メニューの「檸檬ぜんざい」(冷)

地元と観光客のニーズを事業化して多業種多店舗展開

地域の課題であった空き家を、文化・物語の歴史を体感できる場所、また自然景観(瀬戸内海一望、朝日、海面を照らす月光の道等)も堪能できる場所とすることで観光資源としての価値を向上させた。他にも、①地元産柑橘を原材料としたジャム・シロップ等の加工品の開発、②多業種多店舗展開を行い、店舗自体が観光拠点となることで点から線、さらに面へと拡張し、観光客の滞在時間が長くなるような工夫、③江戸時代の空き家をリノベーションし、1泊8万円～(2名様)の一組限定宿を開業する、など近隣にはないサービスと価格帯で瀬戸内の価値向上を図っている。



新豊は一日一組様限定の貸切宿・貸別荘